

ノーニュークス・アジアフォーラムは、

「アジアの反原発・脱原発運動のネットワーク」です。

参加国は、日本、韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、タイ、インド、マレーシア、ベトナム、トルコ、オーストラリア、中国、モンゴル、ロシアです。

1993年より、各国持ち回りでフォーラムを21回開催。情報を交換し、運動の経験を共有し、お互いに、学び合い、励まし合ってきました。

フォーラムのとき以外にも、さまざまなやり取りや、多くの行ったり来たり、共同の行動など。原発輸出に反対する運動も行ってきました。

「反原発運動のアジア連帯」と言われています。

「ノーニュース・アジアフォーラム 若者交流」

ノーニュース・アジアフォーラムが、30年以上にわたって継続し、培ってきた、アジア地域における民衆運動の国境を越えた連帯を、次世代に継承していくことが必要です。

2023年韓国でのフォーラムで、若者たちが主体的に呼びかけて、若者交流会が開始されました。

そしてABTの助成を受け、2024年、韓国での3万人気候正義行進に際して韓台日で青年交流会が、2025年台湾フォーラムでは韓台日比の若者たちが参加して若者交流が行われました。



【韓国気候正義行進・東アジア脱原発青年交流会】（3分）

YouTubeで検索、または

ノーニュークス・アジアフォーラムのチャンネルで見てください。



報告会「韓国・気候正義行進 & 東ア...



Watch later



Share

Climate change · Climate change refers to long-term...



Seoul, Korea

2024

@ilpensolidaritycl



韓国気候正義集会
脱原発青年交流会の報告

主催: No Nukes Asia Forum



0:03 / 1:14:25



Watch on YouTube

【報告会「韓国・気候正義行進 & 東アジア脱原発青年交流会」】24.10.12 録画（74分）。これもYouTubeで見れます。

2024年に韓国で実施した青年交流会では、3万人規模で行われた「気候正義集会」に参加することで、韓国の気候正義運動の熱気を日本と台湾の若者たちにも体感してもらうことができました。

2025年に台湾で実施した青年交流会では、2024年に韓国を訪問した台湾人参加者が受け入れ側として活躍するなど一過性ではない関わりが実現したとともに、脱原発を実現する瞬間を多国籍の参加者で喜び合う現場を共有したことが参加者の若者たちに深い印象を残しました。

過去2回の青年交流会に参加した若者たちは、別の文脈でも交流を続けており、活動の広がりがみられます。

2025年台湾フォーラムでの若者交流

アジア初の脱原発



2025年5月17日夜10時、「原発ゼロ」になった瞬間、台湾電力本社ビルに「プロジェクションマッピング」で、「非核家園(核のない国)」「No Nukes TAIWAN」「No Nukes ASIA」と映写されました。ビルの下で、台湾の多くの人々とともに、アジア7か国から60人も、歴史的な夜を、ともに喜びました。私にとっては、脱原発が理想ではなく現実に実現できることを目の当たりにした瞬間でした。

この日ははさんで5月16日から20日まで、第21回ノーニュークス・アジアフォーラムが台湾で開催されました。日本、韓国、フィリピン、インドネシア、タイ、インド、トルコから60名が参加しました（日本からは25名）。

フィールドワークなどの学びを得て、1週間にわたって、若者同士および世代を超えて交流を深めながら、国際会議で韓台日比の若者たちがスピーチする**若者セッション**2回（各2.5時間）と、**若者だけの交流会**（2.5時間）が開催されました。

台湾でのノーニュークス・アジアフォーラムでは、**若者交流**が会期中を通して、重要なプログラムとして位置付けられることになりました。これは画期的な変化でした。

台湾ノーニュース・アジアフォーラムの日程です。5月です。

16日 午前：開会式、基調講演、各国報告1

午後：各国報告2、テーマ討論1、若者セッション1

17日 午前：テーマ討論2

午後：テーマ討論3、若者セッション2

夜：非核家園(核のない国)集会 (台湾電力本社ビル前)

18日 台湾南部の第三原発視察、再生可能エネルギーサイト訪問

19日 台湾電力会長、屏東県知事との懇談会

台北へもどって 若者交流会

20日 午前：第四原発視察、住民との交流

午後：第一原発、第二原発視察 夜：台北で若者たちは街へ

国際会議で若者セッション(2回)



ステージで韓日比の若者を紹介



それぞれ、プレゼンテーションする若者たち



私は若者セッションに参加する中で、日本の経験や考えを伝える責任を感じました。同時に、他国の若者の発表から新しい視点や学びを得ることができました。

若者だけの交流会



台湾、日本、韓国、フィリピンから18名の若者が集い、原発のない未来をめざして、それぞれの経験や思いを語り合いました。フィリピンの若者の発言に対し、他の国の参加者から「私たちにできることはあるか？」と自然に声が上がった場面は、国境を越えた連帯の瞬間でした(曾根俊太郎)

参加費
500円

ノーニュークスアジア フォーラム2025 in台湾 報告会

6.28 SAT

13:00 ▶ 15:00

開場12:45

報告者

川崎彩子 (若者気候訴訟原告)
曾根俊太郎 (元高校生平和大使)
渡辺あこ (일팬 solidarity club)

場所

大阪市青少年センターKOKO PLAZA講義室505
アクセス：新大阪駅東口より徒歩7分

Zoom (無料) 申し込み
お問い合わせ

ayupertiwi@rice.ocn.ne.jp (宇野田)
会場参加の場合は、申し込み不要です

アジア初の脱原発を実現した台湾と
アジアの若者たちの動き

台湾の若者たちによる反原発絵画展の
作品展示や、珠洲のお菓子も販売も!



【アジア初の脱原発を実現した台湾とアジアの若者たちの動き～ノーニュークス・アジアフォーラム2025 in台湾 報告会～】(104分) YouTubeで検索またはノーニュークス・アジアフォーラムのチャンネルで見てください。

私たちは今回の交流を通して、アジアの仲間たちと今後もつながり続けることの大切さを実感しました。

私自身、食事や移動時間など本会議以外の何気ない時間の中で、お互いの考えや背景を深く知ることができました。また、一人ひとりが活動を始めたきっかけや抱えている悩みを聞くことで、国や文化が違っていても共通する課題があることに気付きました。

活動の内容は違って、仲間集めや発信の難しさなど、私たちが直面している悩みには多くの共通点がありました。そして台湾で脱原発が実現した現場を訪れたことで、社会は本当に変えられるのだという希望を持つことができました。



今回特筆すべきは、日本、韓国、台湾、フィリピンから若者参加者を招待できたことによって、若者を含めて参加者が寝食を共にする中で公式、非公式を問わずさまざまなやり取りや異文化交流、異世代交流が行われたことの重要性です。

これは、世代交代や次世代継承についてどれだけ時間をかけて抽象的な議論をしても到達し得なかったであろう気づきに満ちたものでした。

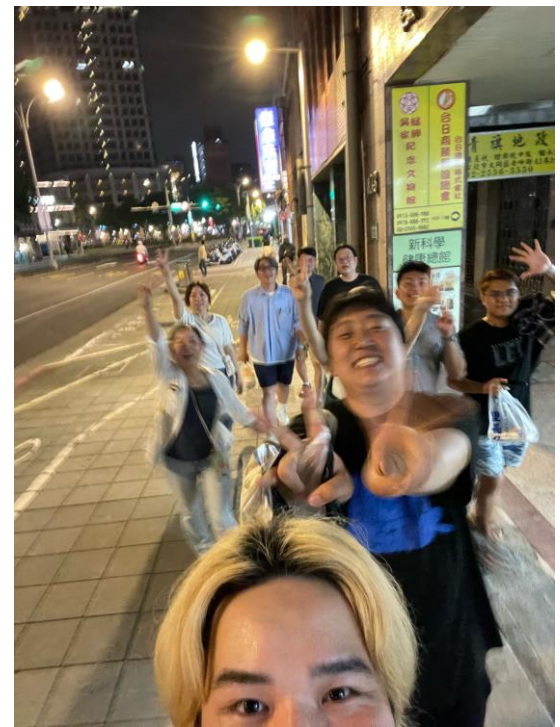
私は今回の交流を通して、国や文化が違っても同じ課題に向き合う仲間として連帯できることの大切さを実感しました。

このつながりは、これからの活動を続けていく上で大きな力になると思います。

今回の取り組みの意義はすでにフィリピンにも伝えられ、6月17～20日のNNAFフィリピンでは、若者集会と、国際会議での若者セッションが行われます。



写真は、昨年6月、バターン原発の稼働を阻止した地域ゼネスト40周年のバターン集会。若者が過半数です。



私は日本から参加し、福島経験や日本の課題について伝えました。しかし、それ以上に台湾や韓国、フィリピンの若者から多くを学びました。今回できたつながりを大切にしながら、これからも核も原発もない未来について考え、行動していきたいと思います。